

## 第5次愛知県環境基本計画を推進する連携・協働による取組事例

### 1 地球温暖化対策

#### ○ 「あいち COOL CHOICE」県民運動

地球温暖化対策についての意識を高め、脱炭素型のライフスタイルへの転換を促すため、地球温暖化対策に資する「賢い選択（＝COOL CHOICE）」を呼びかける「あいちCOOL CHOICE」県民運動を推進している。

「夏休み！おうちでエコアップ大作戦」や小学生等に向けた「ストップ温暖化教室」などの様々な取組を実施している。

【2024年度実績】夏休み！おうちでエコアップ大作戦 5,200家族  
ストップ温暖化教室 9,772名

【連携先】（一社）環境創造研究センター（愛知県地球温暖化防止活動推進センター）

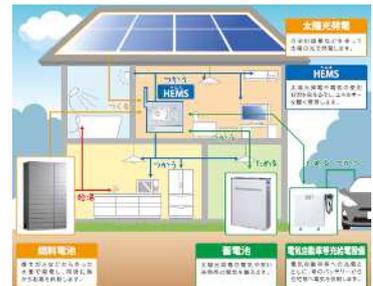


#### ○ 住宅用地球温暖化対策設備の普及促進

環境に配慮した住宅（スマートハウス・ZEH（ゼッチ））の普及を図るため、補助制度を有する市町村と協調して、太陽光発電、家庭用エネルギー管理システム（HEMS（へмс））、燃料電池等の導入費用の一部を補助している。

【2024年度補助実績】8,079件、315,198千円

【2025年度協調先】54市町村



#### ○ あいち脱炭素経営支援プラットフォーム

普段から地域の中小企業等と接点を持っている経済団体や金融機関等と行政が一体となって、地域ぐるみで中小企業等の脱炭素経営を支援することを目的として、2023年11月に「あいち脱炭素経営支援プラットフォーム（事務局：愛知県）」を設立した。

本プラットフォームを核として、参画機関が連携・協働しながら、伴走型省エネ診断等を通じて地域ぐるみで中小企業等の脱炭素経営に向けた支援をしている。

【2024年度実績】伴走型省エネ診断 23社  
脱炭素経営体制構築コンサルティング 1社  
ワンストップ相談窓口の設置

【プラットフォーム構成機関】環境省中部地方環境事務所、経済産業省中部経済産業局、37市町、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、名古屋商工会議所等17金融機関等



省エネ診断の様子

## ○矢作川・豊川CN（カーボンニュートラル）プロジェクト

矢作川流域、豊川流域をモデルケースとし、“水循環”をキーワードに、再生可能エネルギー等の導入による国土強靱化を始め、森林保全・治水・水道からエネルギーまでを含めた、官民連携で総合的かつ分野横断的にカーボンニュートラルの実現を目指す。

矢作川・豊川CN推進協議会で議論し、実現可能な施策から順次事業化している。

（2021年度にあいちカーボンニュートラル戦略会議（以下「戦略会議」で選定）

### 【2024年度実績】

協議会の開催（2回）、菱池遊水地への太陽光発電事業者の公募開始 等

### 【協議会構成員】

愛知県知事、豊橋市長、豊田市長、東海農政局長、中部経済産業局長、中部地方整備局長、中部地方環境事務所長、水資源機構中部支社長、愛知県商工会議所連合会会長、中部経済連合会会長、東京大学池内名誉教授、一橋大学山内名誉教授



## ○ CO<sub>2</sub>コンクリート固定化技術を用いた域内カーボンリサイクルプロジェクト

産業部門から排出されるCO<sub>2</sub>を、廃棄物及び副産物中のカルシウム成分と反応させ、コンクリートに固定化するカーボンリサイクル\*に関する取組の事業化を支援する。

※CO<sub>2</sub>を資源として捉え回収し様々な製品や燃料として再利用

（2023年度に戦略会議で選定）

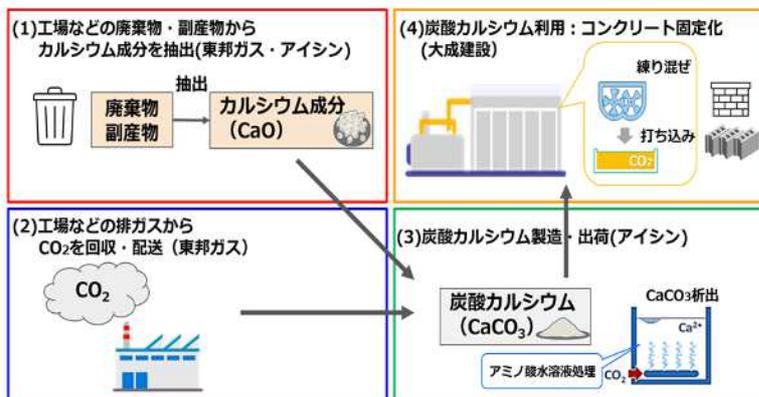
<提案企業>東邦ガス(株)、(株)アイシン、大成建設(株)

### 【2024年度実績】

- ・あいちカーボンリサイクル推進協議会設立（2024年9月）
- ・CO<sub>2</sub>固定量やコスト目標等を定めたビジョンの作成 等

### 【協議会構成員】

行政、企業・団体など43団体



## ○ 物流脱炭素化プロジェクト

ワタミ株式会社の宅食事業は、津島市の工場で、再生可能エネルギー電気100%でお弁当を製造するとともに、容器や調理くず等をリサイクルする取組を実施している。しかしながら、お弁当の配送（動脈）、使用済み容器・調理くずの回収等（静脈）の物流部分は脱炭素化できていない。サプライチェーン全体をより環境配慮型にするために、動脈・静脈の物流にFCトラックを先行導入するとともに、物流脱炭素化モデルスキームを構築し、県内の物流に幅広く横展開する。あわせて、効率的な水素供給の方策についても検討している。（2023年度に戦略会議で選定）

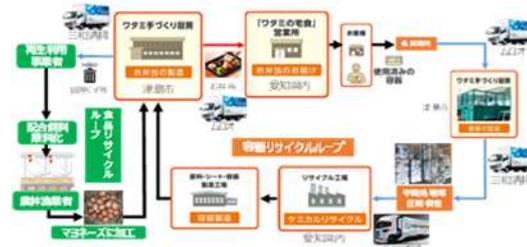
<提案企業>ワタミ(株)、(株)ムロオ、三和清掃(株)

### 【2024年度実績】

- ・あいち物流脱炭素化推進会議設立（2024年10月）
- ・FCトラック試乗会&日常点検講習会 参加者：約100名 等

### 【推進会議構成員】

- ・プロジェクトチーム企業・輸送事業者・荷主、車両OEM
- ・水素インフラ事業者、業界団体及び行政機関など101団体



## ○地産地消SAFサプライチェーン構築プロジェクト

本地域の飲食チェーン店や家庭等から回収した廃食油等を原料に、CO2排出量の少ない方法でSAF※を製造し、県内の空港を利用するエアラインへの供給することを目指すとともに、トレーサビリティシステムを活用し、廃食油等の原料の回収・SAF製造・輸送等に伴うCO2排出量を正確に把握することで、原料となる廃食油等の回収からSAFの製造、供給、利用まで含めた地産地消サプライチェーンの構築を目指す。

※ Sustainable Aviation Fuel：廃棄物等を原料とするジェット燃料で、従来のジェット燃料と比較して60～80%のCO2削減効果がある。

(2024年度に戦略会議で選定)

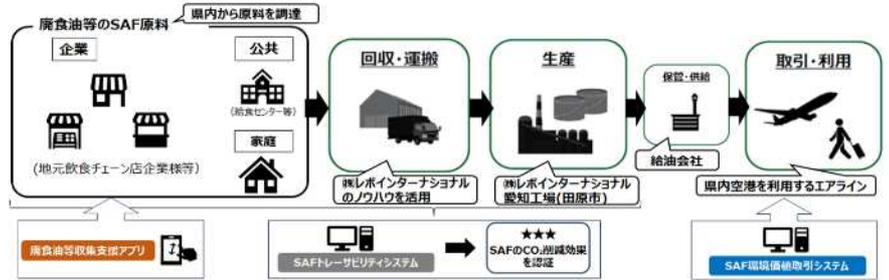
<提案企業> (株)レボインターナショナル、(株)NTTデータ

### 【2024年度実績】

あいち地産地消SAFサプライチェーン推進協議会構成員メンバー募集

※協議会は2025年8月8日設立

【協議会構成員】行政、企業・団体など40団体



## ○ペロブスカイト太陽電池（PSC）普及拡大プロジェクト

PSC※を県有施設に実証導入するとともに、県内におけるPSCの導入ポテンシャルを調査し、モデルケースの確立やPSC導入目標量の設定に向けて検討する。また、県内市町村等の公共施設や民間施設を幅広く公募し、PSCの実証事例を全国に先駆けて積み上げ、地域に幅広くPSCを社会実装するために具体的な検討を実施する。※ペロブスカイトという結晶構造を用いた太陽電池で従来のシリコン系太陽電池と比べて軽量で柔軟性に優れる。(2024年度に戦略会議で選定)

<提案企業>

(株)アイシン、中部電力ミライズ(株)、関西電力(株)

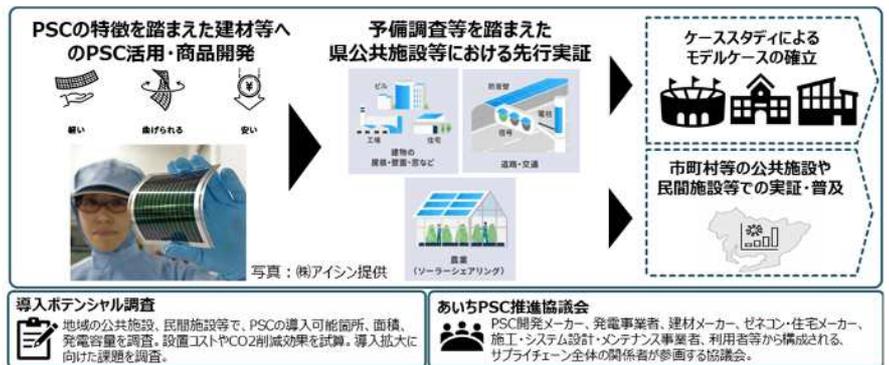
### 【2024年度実績】

あいちペロブスカイト太陽電池推進協議会構成員メンバー募集

※協議会は2025年5月30日設立

### 【協議会構成員】

行政、企業・団体など86団体



## ○中部圏水素・アンモニア社会実装推進会議の取組

2050年カーボンニュートラルの実現に向け、中部圏の自治体や経済団体、地域が一体となって、水素とアンモニアのサプライチェーン構築や需要創出・利活用促進等の取組を実施。

### 【2024年度実績】

- ・会員企業との相互協力に関する基本合意書の締結
- ・「2030年に向けた水素・アンモニアサプライチェーン推進案件」公表

### 【推進会議構成員】

中部圏水素利用協議会、(株)JERA、名古屋商工会議所始め3経済団体、中部経済産業局始め3国地方機関、愛知、岐阜、三重県の14自治体



「2030年に向けた水素・アンモニアサプライチェーン推進案件」(2024年度) 中部圏におけるサプライチェーンイメージ

## ○ 中部圏低炭素水素サプライチェーン構築促進会議の取組

本県が全国に先駆けて制定した、再生可能エネルギーから製造された水素を「低炭素水素」として認証・情報発信する「低炭素水素認証制度」について、2023年度から対象範囲を中部圏（愛知県、岐阜県及び三重県）へと拡大した。企業や市町村等と連携の上、中部圏における広域的な低炭素水素サプライチェーン構築を促進している。

### 【2024年度実績】

- ・ 1プロジェクトを認定
- ・ 8プロジェクトに係る2023年度の低炭素水素製造実績を認証

### 【構築促進会議構成員】

環境パートナーシップ・CLUB脱炭素分科会、企業、行政の15団体、学識経験者2名（オブザーバー3団体）



明治電機工業豊田支店 再エネ由来水素利活用プロジェクト (2024年度認定)

## 2 自然との共生

### ○ 生態系ネットワーク協議会との連携

開発などで分断・孤立した生物の生息生育空間を緑地でつないで豊かな生物多様性をもった地域を作り上げる「生態系ネットワークの形成」を進めるため、県内9地域において、大学や事業者、NPO、行政等で構成される生態系ネットワーク協議会を設立し、多様な主体の協働による取組を実施している。

※県内協議会名：知多半島、東部丘陵、西三河、尾張北部、新城設楽、東三河、渥美半島、西三河南部、尾張西部

### 【2024年度実績】

地区間交流会の開催、あいち自然再生カレッジの開催（東部丘陵）等

### 【協議会構成員】

各地域内の市町村、大学、企業、NPO等 306団体（2025年3月）  
 (NPO法人愛知環境カウンセラー協会：知多半島、東部丘陵、尾張西部  
 ビオトープ・ネットワーク中部：尾張西部)



## 3 資源循環

### ○ あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームの取組

2022年3月に策定した「あいちサーキュラーエコノミー推進プラン」に基づき、サーキュラーエコノミー（循環経済）への転換とプラスチックや太陽光パネル等の社会的課題を同時に解決するため、あいちサーキュラーエコノミー推進プロジェクトチームを設立し、各種事業化を目指した取組を実施している。

### 【2024年度実績】

プロジェクトチーム合同会議の開催、中部空港におけるプラスチック循環の事業化 等

### 【プロジェクトチーム参画者数】

66事業者（延べ83事業者）※6チーム合計



プロジェクトチーム合同会議の様子

## ○ 愛知環境賞

サーキュラーエコノミーやカーボンニュートラルに関する取組など、資源循環や環境負荷低減に向けた企業、団体による<技術・事業><活動・教育>の取組を募集し、優れた事例に対する表彰事業を実施している。

【2024年度実績】 応募45件に対して15件を表彰

【共催】 環境パートナーシップ・CLUB、中日新聞社



ロゴマーク

## ○ ごみゼロ社会推進あいち県民会議

啓発イベントや研修会等の実施とともに、ごみ減量化対策、ごみ再資源化対策、不法投棄対策の三つの部会を開催し、県民・事業者・行政が一体となつてごみゼロ社会の形成を推進している。

【2024年度実績】

- ・ごみゼロ社会推進あいち県民大会の開催 参加人数：延べ3,200人
- ・レジ袋削減取組優良店の認定・表彰 受賞者：計9店舗

【会議会員】

愛知県市長会、愛知県町村会、愛知県商工会議所連合会、愛知県商工会連合会、愛知消費者協会、愛知県生活協同組合連合会、愛知県女性団体連盟など113団体

## 4 安全・安心の確保

### ○ 三河湾環境再生プロジェクト

三河湾環境再生パートナーシップ・クラブと連携・協働し、「三河湾環境再生プロジェクトーよみがえれ！生きものの里“三河湾”ー」に基づく、三河湾大感謝祭、三河湾環境学習会等の各種取組を実施している。

【2024年度実績】

- ・三河湾大感謝祭 10月6日 約3,000名
- ・三河湾環境学習会 7月27日 40名 等

【三河湾環境再生パートナーシップ・クラブ会員】

- ・行政、企業・団体・教育機関、NPOなど44団体



2024年度三河湾大感謝祭

## 5 行動する人づくり

### ○ 環境学習コーディネーター事業

愛知県環境調査センター内の「あいち環境学習プラザ」において、環境学習を受けたい方と、環境学習を提供できる方の橋渡しを担う「環境学習コーディネーター」を配置している。

環境学習の内容や実施方法、講師、教材、活動場所等についての相談や講義日程の調整などを行っている。

【2024年度実績】 コーディネート10件、相談6件

【協力団体】 (一社) 環境創造研究センター



環境学習の様子（安城市立新田小学校）

## ○ SDGs推進フェア「SDGs AICHI EXPO」の開催

SDGsに取り組む企業・大学・NPO等、各主体のコミュニケーション・ネットワーク化の促進やSDGsの県内全域への普及・浸透を目的に、ブース出展や各種ステージイベント等を実施している。

### 【2024年度実績】

期 間：10月10日(木)～12日(土)

場 所：Aichi Sky Expo (愛知県国際展示場)

参加者：14,793人 (会場参加11,362人、オンライン3,431人)

### 【SDGs AICHI EXPO実行委員会】

(一社) 中部SDGs推進センター、環境パートナーシップ・CLUB、愛知学長懇話会SDGs企画委員会、NPO法人愛知環境カウンセラー協会、環境省中部地方環境事務所



イベントの様子

## ○ 「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」の成果発表会の共同開催

大学生を対象とした人づくりプログラム「かがやけ☆あいちサスティナ研究所」について、研究員である大学生の最終プレゼンテーションの場である成果発表会を愛知学長懇話会SDGsリレーシンポジウムに位置付け、集客、広報を協力して行っている。

【2024年度実績】 12月8日(日)開催 参加者：147名

【協力団体】 愛知学長懇話会SDGs企画委員会



成果発表会の様子

## ○ あいちエコアクション・ポイント事業

県民を対象に脱炭素・循環型ライフスタイルへの転換や行動変容を促すため、飲食店での食べ残しゼロなどの環境配慮行動(エコアクション)に対して愛知県独自のポイント(あいちエコアクション・ポイント)を付与する。

【2024年度実績】 参加者 約10,700名

参加店舗等 約4,700店舗



## 6 全体

## ○ あいち環境イノベーションプロジェクト

カーボンニュートラルの実現などの環境課題の解決に向けて、革新的な技術・アイデアを有するスタートアップ等と連携し、愛知発の環境イノベーションの創出・実装に取り組む。

### 【2024年度実績】

- ・革新的な技術やアイデアを公募し、多くの提案の中から8つのプロジェクトを採択して、社会実装に向けた伴走支援を開始
- ・あいち環境イノベーションコンソーシアム設立(2025年1月)

### 【コンソーシアム会員】

民間企業、大学、金融機関、行政機関、採択スタートアップなど計54団体



発足式の記念写真